

〈同好会便り〉

「囲碁同好会」

第8回親睦対抗戦

鳥取県人会囲碁同好会が善戦

囲碁同好会幹事 梅林 淳

鳥取県人会囲碁同好会とマスコミOB会囲碁同好会による第8回親睦対抗戦が、2026年5月16日にダイヤモンド囲碁サロン(東京都千代田区)で行われました。鳥取県人会チームは、強豪揃いのマスコミOB会チームに対し、合計15勝を挙げて健闘したものの、マスコミ側の17勝により惜敗しました。

大会は両チーム各8名による4回戦制で対局が行われました。手島六段と高治四段がそれぞれ3勝を記録し、チームの勝利に大きく貢献。足立六段、村田五段、影山四段、矢部三段が2勝を挙げ、チームの安定した戦いを支えました。

鳥取県人会チームの戦績概要

1回戦	4勝(8戦中)
2回戦	2勝(8戦中)
3回戦	5勝(8戦中)
4回戦	4勝(8戦中)
合計	15勝



第8回親睦対抗戦 = 2026年5月16日、東京都千代田区のダイヤモンド囲碁サロン

「劇団民藝公演の演劇鑑賞会」のご案内

交流部会 小林 淳

劇団民藝公演の演劇鑑賞会を10月2日(金)に開催します。特典として、チケット割引、パンフレット無償、客席で出演者との記念撮影が用意されています。ふるってご参加ください。(募集要項・詳細は同封書類参照)

日時: 2026年10月2日(金)
開演 18時30分
会場: 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

出演: 榎山文枝、中地美佐子、小杉勇二、みやご夏穂ほか
上演作品: 「証(あかし)」
中津留章仁作・演出の民藝3作目です。今作では跡取りのない米農家を舞台に、利便さや効率が優先され

るなかで失われつつある「人間の幸福」とは何かを問いかけています。祖先から受け継いだ土壌と自然を守り、地域とのつながりの中で生きてきたかつての生活様式が教えてくれる真の豊かさを見つめ直す新作です。



出演者と記念撮影する東京鳥取県人会演劇鑑賞会の参加者ら = 2025年10月4日

〈同窓会便り〉

東京かしのは会 総会・懇親会を法曹会館で開く

約60人が参加、新会長に下西正夫さん

東京かしのは会事務局

東京かしのは会 境高校の東京同窓会の第52回総会と懇親会が令和7年10月4日、東京・霞が関の法曹会館で開催されました。今回から会場を日比谷松本楼から移し、全員が着席して食事を楽しめる形式となりました。

当日は小雨がぱらつく空模様でしたが、暑くも寒くもない過ごしやすい天候に恵まれ、高校1期から62期まで、東京、関東近郊および郷里境港から同窓生、来賓を含め約60名が一堂に会しました。

司会村山隆亮さん(高校22期)が務め、冒頭、令和7年1月に逝去された故・中村仁史会長に黙祷を捧げました。続いて上司則子会長代行から、参加者および役員への感謝の挨拶がありました。総会議長には水上孝浩さん(高校30期)が選出され、全議案が賛成多数で承認され、新会長として下西正夫さん(高校26期)が就任されました。

懇親会では、境高校の酒井俊彦校長が祝辞を述べ、母校の近況について話しました。続いて、高校38期の白鳥章二郎さんが「ITの進化とAIをテーマにAIを活用した参加型のゲームも交えて講演し、AIを身近に感じ、理解を深める貴重な時間となりました。

景山勝一さん(高校9期)の乾杯で懇親会に移り、美味しい料理に加え、持ち込みの焼酎「浜のいも太」を味わいながら、会話も大いに弾みました。その後、足立康弘さんの三味線と徳永由樹さんの銭太鼓による安来節が披露され、迫力ある共演に参加者一同、魅了されました。

続いて、傘寿を迎えられた先輩方への記念品贈呈やビンゴゲームも行われ、来賓の皆さまからも祝辞をいただきました。

鳥取県ゆかりの話題の

人を囲む講演開催

「鳥取県から始まる『プラネタリーヘルス』の未来社会」をテーマに

交流部会 杉原宗人

東京鳥取県人会交流部会の活動の一端として鳥取県ゆかりの話題の人を囲む講演会が2026年3月22日、東京・新橋のとつとり・おかやま新橋館で30名が参加して行われました。鳥取県日野郡江府町の白石祐治町長も来賓で参加いただきました。

講演会では「鳥取県から始まる『プラネタリーヘルス』の未来社会」GD Pの先にある自然再生型資本主義経済の基盤をテーマに、(一社)プラネタリーヘルスインシアティブ代表理事、桐村里紗氏(内科医、認定産業医)と天籟株式会社代表取締役社長、桐村一平氏が講演しました。

講演の主な内容は以下の通りです。

- ①「プラネタリーヘルス」とは、地球というシステムの中で人間と地球の健康が繋がっているという考え方。
- ②「鳥取県江府町モデル」
- ③鳥取県の豊富な富
- 鳥取県は金融資本主義GD Pでは全国最下位だが、GD Pでは測れない豊富な富がある。
- 大山を源流とする豊かな流域、水源
- 清浄な水、空気、土壌
- 生物多様性、土壌微生物
- 農村の共同体、心の豊かさ
- 今後鳥取県ゆかりの話題の人を囲む交流会、啓発事業を企画し実施する予定です。



講演する桐村里紗氏 = 2026年3月22日、東京・新橋のとつとり・おかやま新橋館



記念撮影に収まる東京かしのは会の第52回総会と懇親会の参加者 = 2025年10月4日、東京・霞が関の法曹会館

〈交流部会便り〉

第59回因伯オープン開催

名門コースで全員楽しくプレー

交流部会 奥田 真三

4月22日(水)東京鳥取県人会懇親ゴルフ会 第59回因伯オープンが埼玉東松山市の名門、高坂カントリークラブ米山コースで開催されました。同コースでは初めてで、朝から晴れ絶好のゴルフ日和の中でのプレーとなりました。

優勝は市川祐一郎さん、準優勝は福井浩之さん(ベスグロフ)、第3位は中村博樹さん、女子優勝は柳沢多恵子さん(女子ベスグロフ)と、いずれも中部地区出身者が占める結果となりました。毎回中部地区出身者の参加が多く、中部地区出身者が5位までを占める結果となり、東部・中部・西部で対抗する団体戦についても、中部地区が優勝となりました。(前回のくじ引きによる団体分けから元のスタイル、東・中・西部の対抗戦に戻しました)

参加者23名内女性は5名、東部地区7名、中部地区11名、西部地区5名の参加でした。

「高齢のメンバーも多く、プレーを楽しんで全員最後まで完走する」を



記念撮影に収まる東京鳥取県人会懇親ゴルフ会の第59回因伯オープンの参加者 = 2026年4月22日、埼玉東松山市の高坂カントリークラブ

【編集後記】

今回の「地方創生ばなし」は、鳥取和牛などブランド牛の通販と卸などを手掛ける「やまのおかげ屋」です。銀座のレストランにも鳥取和牛を卸しているとのこと。是非、出かけて味わってみたいものです。鳥取和牛が日本一のブランド牛になることを期待しています。会員からの近況便り(500字)を、読者の感想(200字)をお待ちしております。事務局宛て手紙、FAXでお寄せ下さい。編集者

長崎から世界へ。リンガーハットグループは挑戦し続けます。

リンガーハットグループは、昭和37年(1962年)の創業に始まり、「長崎ちゃんぽん」を数語でリンガーハットの店舗展開を始めた。長崎から九州有数、そして全国、さらには海外展開へ。これからは長崎の食文化を、世界に発信してまいります。

リンガーハットグループ 64店舗

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

株式会社リンガーハット 代表取締役 水原 和史

2025年10月4日(日)開催された第52回総会と懇親会。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。懇親会では、境高校の酒井俊彦校長の祝辞や、白鳥章二郎さんの講演など、大変貴重な時間となりました。また、焼酎「浜のいも太」の試飲も大変盛り上がりました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

和風料理 つくし館 鳥取市東区温泉町